



【いざ平昌へ！そして東京へ！！オリンピック教室の開催】

10月26日（木）、27日（金）の2日間、2年生全クラスを対象に、オリンピック（オリンピック出場経験アスリート）によるオリンピック教室を行った。本行事は、公益財団法人オリンピック委員会（JOC）が主催し、全国の中学生に対して、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、オリンピックの価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことができるように、授業を通して学習することを目的としている。

26日のオリンピックは、伊藤華英（いとう はなえ）先生。伊藤先生は、水泳（競泳）を専門とし、2001年世界水泳選手権大会100m背泳ぎ7位をはじめ、2012年ロンドンオリンピック大会200m自由形16位、同大会の400mフリーリレー7位など、これまで数々の大会において入賞を果たしてこられた先生である。

当日は、2年1組・2組を担当していただき、実技では、エクセレント：「卓越」「ベストを尽くす」、フレンドシップ：「友情」「思いやりの気持ち」、リスペクト：「敬意/尊重」「ライバルを認める」に着目して、グループによる縄跳びを行った。最初は上手に飛べなかったグループも、それぞれで考えを出し合い、協力しながら取り組み、3つのバリューを意識しながら飛ぶ回数を増やしていった。次の座学の時間では、伊藤先生が出場できると思っていたアテネ大会の選考会で落選し、その経験を通して気づいたことや学んだことを3つのオリンピックバリューとしてつなげながらオリンピックの価値を説いていただいた。

27日のオリンピックは、三好智弘（みよしともひろ）先生。三好先生は、現在、湘南工大附属高等学校にご勤務されている現役の先生である。

三好先生は、1990年日本選手権水泳競技大会200mバタフライ優勝をはじめ、1992年バルセロナ大会100m、200mバタフライに出場をされた先生である。

三好先生は2年3組・4組を担当していただき、伊藤先生同様に、実技と座学を通してオリンピックの歴史、オリンピックと平和、オリンピックの3つのバリューに着目し、オリンピックの価値について、ご自信の経験を踏まえながら熱い気持ちを前面に出して授業を行っていただいた。

両名の先生に共通していることは、もちろんオリンピックであることは紛れもない事実ではあるが、これまで幾多の困難と立ち向かい、その都度自分自身を奮い立たせ、その困難を乗り越えてきたオリンピックとしてのオーラ、情熱がにじみ出ていることである。

生徒たちも親しみやすい両先生の話しぶりに親近感を抱きながら真剣なまなざしで授業を受けていたことが印象的である。

今年は、お隣の韓国・平昌（ピョンチャン）で冬季オリンピックが開催される。そして、いよいよ3年後には、東京オリンピック。各国が文化の違いを乗り越え、友好を深め、世界平和につながることを目的として始まったオリンピックが開催される。もう一度オリンピズム（オリンピック精神）を再確認し、本校からもオリンピック・ムーブメントを推進していきたい。

